

平成二十八(二〇一六)年度 日本東洋美術史の調査 研究報告

著者	中谷 伸生, 日本東洋美術調査研究班
雑誌名	関西大学博物館紀要
巻	23
ページ	23-23
発行年	2017-03-31
URL	http://hdl.handle.net/10112/11181

平成二十八（二〇一六）年度

日本東洋美術史の調査研究報告

中谷伸生
日本東洋美術調査研究班

日本東洋美術史の調査研究について

日本東洋美術史の調査研究は、主として日本近世近代美術史をめぐって、関西大学文学部の中谷伸生（美術史）と大学院東アジア文化研究科の院生、中島小巻（近現代美術史・具体美術協会と中国・韓国現代美術研究）、斐洙浄（日本近代工芸史・柳宗悦と民藝運動の研究）、豊田郁（日本近代絵画史・土田麦僊と国画創作協会研究）、村上敬（日本近世絵画史・円山応挙研究）、原田喜子（日本近代工芸史・柳宗悦と民藝あるいは博覧会の研究）、カラヴァエヴァ・ユリヤ（日本近世絵画史・池大雅研究）によって行った。それぞれの資料についてお世話になった各地の所蔵者に感謝を申し上げる。

〈論文〉

木村兼葭堂の周辺から次世代の画家たちへ

中谷 伸生

〈資料紹介〉

福原五岳筆《蝦蟇仙人図》（関西大学図書館蔵）

カラヴァエヴァ・ユリヤ

《今尾景年先生花鳥図粉本》（関西大学図書館蔵）

村上 敬

上田耕甫《時代盆踊図》

豊田 郁

関西大学図書館所蔵・鍋井克之作品及び資料について

中島 小巻

関西大学博物館所蔵・内藤湖南の朝鮮陶磁コレクション 斐洙浄